2026年11月26日

会 社 名　　株式会社　　吉野家ホールディングス
代表者名　　代表取締役社長　　成瀬　哲也
（コード番号 9861 東証プライム市場）
問合せ先　　グループ企画本部長　　茅野　誠
電 話 番 号　　03-5651-8771

連結子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2027年３月１日効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、SPEEDIAを吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本件合併」という）をすることについて決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本件合併は当社100%子会社を対象とする吸収合併であるため、開示事項・内容を一部省略しています。

記

１．本件合併の目的

本日別途開示いたしました「連結子会社の事業譲渡に関するお知らせ」に記載のとおり、当社連結子会社である株式会社SPEEDIAが営むダチョウ飼育およびダチョウ加工食品の製造・販売業を株式会社かのやOSTRICHへ譲渡し、あわせて化粧品事業を終了することに伴い、同社における事業活動がすべて完了する予定です。これを受け、残存する資産・権利義務等の整理・集約およびグループ内の管理コスト削減・経営効率化を図るため、当社を存続会社とし、株式会社SPEEDIAを消滅会社とする吸収合併を実施することを決定しました。

２．本件合併の要旨

（１）本件合併の日程

当社取締役会決議	2026年11月26日
合併契約締結日	2026年11月26日
合併効力発生日	2027年　３月　１日（予定）

※本件合併は、当社においては会社法第796条第2項に規定する簡易合併であり、SPEEDIAにおいては会社法第784条第1項に規定する略式合併であるため、両社とも合併契約承認に関する株主総会決議を経ずに行います。

（２）本件合併の方式

当社を存続会社、SPEEDIAを消滅会社とする吸収合併方式です。

（３）本件合併に係る割当の内容

本件合併による株式その他の金銭等の割当はありません。

（４）消滅会社の新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

３．本件合併の当事会社の概要

・存続会社（2026年８月31日現在）

(１)名称	株式会社吉野家ホールディングス
(２)所在地	東京都中央区日本橋箱崎町36番２号
(３)代表者の役職・氏名	代表取締役社長　　成瀬哲也 代表取締役副社長　小澤典裕
(４)事業内容	グループ会社の経営指導、管理等
(５)資本金	10,265百万円
(６)設立年月日	1958年12月27日
(７)発行済株式総数	65,129,558株
(８)決算期	２月末日
(９)大株主および持株比率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 10.39％ 株式会社日本カストディ銀行 1.92％ 吉翔会 1.30％ （注）当社は、自己株式を1,060,230株保有しておりますが、上記大株主から除外しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
(10)直前事業年度の経営成績および財政状態	2026年２月期（連結）
純資産	68,712百万円
総資産	124,824百万円
１株当たり純資産	1,050.45円
売上高	225,667百万円
営業利益	8,089百万円
経常利益	8,803百万円
当期純利益	4,665百万円
１株当たり当期純利益	72.08円

・消滅会社（2026年８月31日現在）

(１)名称	株式会社SPEEDIA
(２)所在地	茨城県石岡市瓦谷字取替3462番
(３)代表者の役職・氏名	代表取締役社長　平田俊昭
(４)事業内容	ダチョウ等の農畜産物の生産・加工・流通・販売
(５)資本金	10百万円

(６)設立年月日	2009年９月28日
(７)発行済株式総数	17株
(８)決算期	２月末日
(９)大株主および持株比率	株式会社吉野家ホールディングス　100％
(10)直前事業年度の経営成績および財政状態	2026年２月期（単体）
純資産	▲317百万円
総資産	165百万円
１株当たり純資産	▲18,695,113.76円
売上高	79百万円
営業利益	▲37百万円
経常利益	▲40百万円
当期純利益	▲29百万円
１株当たり当期純利益	▲1,749,121.70円

４．組織再編後の状況

本件合併における当社の商号、本店所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金、決算期について変更はありません。

５．本件合併による業績に与える影響

本件合併の実施に先立ち、当社はSPEEDIAの財務健全化を図るため、本日開催の取締役会においてSPEEDIAに対する債権放棄を行うことを決議いたしました。これにより、当期（2027年２月期）に特別損失を、来期（2028年２月期）に抱合せ株式消滅差益を特別利益として当社単体決算に計上する見込みですが、現時点で金額は確定しておりません。なお、当期に計上見込みの特別損失と来期に計上見込みの特別利益は概ね同額となるため、２期間を通算した単体業績への実質的な影響はありません。また、当期および来期の連結業績に与える影響はありません。

※事業譲渡に伴う連結業績への影響について同日開示の「連結子会社の事業譲渡に関するお知らせ」をご参照ください。

以上